

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( 船越小 ) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

○学校と地域が、どのようにつながれば子供たちにとってよりよいものになるか、考えていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校の基本方針が昨年よりもわかりやすい形で説明され、理解でき、活発に意見が出ていた。子どもたちにとっては良い基本方針が示されていると思う。
- 学校運営の基本方針については学校が示した基本方針の中におかしなところがないかをチェックするだけで、熟議をするというところまでいかなかった。
- 特色ある学校づくり、学校支援について、PTA学級支援部、学校支援コーディネーターが主体となり、フォローしながらサポートしていきたい。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 運営協議会として、いかに協力できるか、学校の具体的な要望も知りたい。
- 地域資源を授業に役立てられるように、講師等の候補について、多くの意見が出され、実際につなげることができた。
- 子供たちの学校支援活動には問題はなかったと思うが、学校支援活動について、学校運営協議会とPTAのどちらが主に担うのかを熟議しきれていなかったと思う。
- 慣例のように今まで行っていた活動や、新たに試みる活動は、基本方針に沿って行われていると思う。新たな活動については、あまり動きがないと感じる。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 基本的には、協議会の中で完結しているので、あまり情報発信が十分とは言えない。
- 学校頼り(ブログの発信のみ)で、積極的に情報発信をできたとは言えない。
- 情報発信を誰に向けてしていけば良いのか、はっきりとしなかった。
- 雅楽、戦争体験について、どこにお願いすべきかの連絡が、あらかじめSNSであり、協議会の折、具体的な協議ができた。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 地域の協力を得られるような情報発信を心がけ、地域とのつながりが徐々に形になっていくようにする。
- ・ボランティアの組織化。
- ・クラブ活動等、地域の方のお手伝いや、学年保護者では活動できないと予想される活動への支援。
- ・PTAとのつながりの明確化。